



新着案内

早稲田大阪学園・図書館

http://www.waseda-setsuryo.ed.jp

No.88 2018/9/20

文化祭古本市！ブックカバーもは販売！

「1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養 365」D・S・キダー/文響社

『中世の書物と学問』小川 剛生(日本史リフレット)/山川出版社
中世の人びとはどのようにして書物を利用し、「知」を紡ぎ出したのか。本書では、各時代における古典研究の展開を辿りながら、中世の学問の一端に触れる。『日本史リフレット』シリーズ全 100 冊入荷。

『世界一やさしい問題解決の授業』渡辺 健介/ダイヤモンド社

『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?』山口 周/光文社

『新訳成功の心理学』テニス・ウェイトリー/ダイヤモンド社

『武士の日本史』高橋 昌明/岩波書店

『大隈重信自叙伝』『大隈重信演説談話集』/大隈 重信/岩波書店

『十五の夏/上・下』佐藤 優/幻冬舎

『恋するソマリ』高野 秀行/集英社文庫

『リベラル』がうさんくさいのには理由がある』橋 玲/集英社文庫

『増量日本国憲法を口語訳してみた』塚田 薫/幻冬舎

『コミュ障で損しない方法 38』吉田 尚記/日本文芸社
「空気を読む」のではなくテンションを合わせる、「話す」のではなく「質問する」…。コミュ障を自覚しているニッポン放送アナウンサー・吉田尚記が、方法とその考え方を伝授。

『「コミュ障」だった僕が学んだ話し方』吉田 照美/集英社

『台湾の若者を知りたい』水野 俊平/岩波書店

『直島誕生』秋元 雄史/ティスカヴァートゥエンティワン

『大家さんと僕』矢部 太郎/新潮社

お笑いコンビ「カラテカ」の矢部太郎と一風変わった大家さんとの“2人暮らし”を描いた、ほっこりあたたかなコミックエッセイ。

『君主論』マキアヴェッリ(まんがで読破)/イースト・プレス

『女の一生』モーパッサン(まんがで読破)/イースト・プレス

『オーケストラ楽器別人間学/決定版』

茂木 大輔/中央公論新社
楽器と性格の関係を、N響首席オーボエ奏者が爆笑的にプロファイリングする禁断の音楽書。

『天才はあきらめた』山里 亮太/朝日新聞出版

「自分は天才じゃない」そう悟った日から、地獄のような努力がはじまった。日々のくやしさを燃料に爆走する、南海キャンディーズの山里亮太が、恰好悪いことも全て書いた青春記。

『漫画で楽しむ英語擬音語辞典』改田 昌直/研究社

『英単語の語源図鑑』清水 建二/かんき出版

『日本人の英語はなぜ間違えるのか?』マーク・ピーターセン/集英社文庫

『イメージで比べてわかる前置詞使い分け BOOK』すずきひろし/ベレ出版

『太宰治』井伏 鱒二/中央公論新社

『原民喜』梯 久美子/岩波書店

『宵物語』西尾 維新/講談社

『江ノ島西浦写真館』三上 延/光文社

館主の死により幕を閉じた「江ノ島西浦写真館」。遺品整理のため写真館を訪れた孫の繭は、注文したまま誰も受け取りに来ない「未渡し写真」の束を見つける。繭は写真の謎を解き、注文主に返していくが…。

『サバイバル・ウェディング』大橋 弘祐/文響社

『拳に聞け!』塩田 武士/双葉社

『盤上のアルファ』『女神のタクト』塩田 武士/講談社

『人魚の眠る家』東野 圭吾/幻冬舎

娘の小学校受験が終わったら離婚すと約束した仮面夫婦の2人。彼等に悲報が届く。娘がプールで溺れた。病院に駆けつけた2人に、医師から思いもよらない選択を迫られ…。

『ユートピア』湊 かなえ/集英社文庫

『ポイズンダー・ホーリーマザー』湊 かなえ/光文社
女優の弓香のもとに故郷での同窓会の誘いが届く。欠席を表明したのは抑圧的な母親に会いたくなかったから。だが、思いがけぬ訃報を聞いて…。善意と正しさの掛け違いが、眼前の光景を鮮やかに反転させる短編集。

『あこがれ』川上 未映子/新潮文庫

『営繕かるかや怪異譚』小野 不由美/KADOKAWA

『緋弾のアリア/28』赤松 中学/KADOKAWA

『ファーストラヴ = FIRST LOVE』島本 理生/文藝春秋
【直木賞(2018上半期)受賞作】多摩川沿いを血まみれで歩いていた女子大生・環菜。彼女は、父親を、その勤務先である美術学校で刺殺したとして逮捕されるが…。裁判を通じて明らかにされる家族の秘密とは?

『我が家のヒミツ』奥田 英朗/集英社文庫

『レイテ戦記/3~4』大岡 昇平/中央公論新社

『Arknoah/2』乙一/集英社文庫

『あやし恋古書店』蒼井 紬希/TO ブックス
恋破れ、故郷の新潟に帰った紗月。元書店員の彼女は、妖怪が集う「あやし古書店」で働き始める。無愛想でドSな店主・影野と共に妖怪たちの悩みを解決するうちに、紗月は影野に惹かれ…。

神永 学/KADOKAWA

『心霊探偵八雲 ANOTHER FILES 亡霊の願い』

『心霊探偵八雲 ANOTHER FILES 嘆きの人形』

『マリー・アントワネットの日記/1・2』吉川 トリコ/新潮文庫
ハーイ、あたし、マリー・アントワネット。もうすぐ政略結婚する予定。まったく新しいマリー・アントワネットの日記小説。1は、1770年1月1日~1774年5月10日を収録。

『おれたちの故郷(ふるさと)』佐川 光晴/集英社文庫

『父からの手紙』小杉 健治/光文社

『祝山』加門 七海/光文社

ホラー作家・鹿角南のもとに、旧友からメールが届く。ある廃墟で「肝試し」をしてから、奇妙な事が続発。ネタが拾えれば、と軽い思いで肝試しのメンバーに会った鹿角。それが彼女自身をも巻き込む戦慄の日々の始まりだった。

『あの日、ブルー・ムーンに。』宮下 恵菜/ポプラ社

『悪いうさぎ』『さよならの手口』『静かな炎天』『錆びた滑車』若竹 七海/文藝春秋

仕事はできるが不運すぎる女探偵・葉村晶シリーズ。葉村晶は、家出中の女子高生ミチルを連れ戻す仕事で怪我を負う。一か月後、行方不明のミチルの友人・美和探しを依頼され調査を進めると、ほかに姿を消した少女がいた。真相を追う晶に何者かが…。

『すずらん通りベルサイユ書房』『すずらん通りベルサイユ書房リターンズ!』七尾 与史/光文社

ミステリ作家を目指す日比谷研介は、濃いキャラの書店員ばかりが働く、神保町すずらん通りの「ベルサイユ書房」でアルバイトを始めた。穏やかなバイト生活と思っていたのに、次々と不思議な事件が発生し…。

『宝石商/リチャード氏の謎鑑定』辻村 七子/集英社オレンジ文庫

酔っ払いに絡まれる美貌の外国人・リチャード氏を助けた正義。彼が国内外に顧客をもつ敏腕宝石商と知り、誰にも言えない日くつきのピンク・サファイアの鑑定を依頼する。祖母が死ぬまで守っていたその宝石が秘めた切ない“謎”がリチャード氏により解かれるとき、正義の心に甦るのは?(続巻4冊も購入しました。)

『ラメル/エリキサ』渡辺 優/集英社文庫

『さざなみのよる』木皿 泉/河出書房新社

小国ナスミ、享年43歳。息をひきとった瞬間から、その死は湖に落ちたひと雫の波紋のように、家族や知人へと広がっていき…。命のまばゆいきらめきを描いた感動と祝福の物語。

『愛なき世界』三浦 しをん/中央公論新社

洋食屋の見習い・藤丸陽太が恋をした本村紗英は、三度の飯よりシロイヌナズナ(葉っぱ)の研究が好き。人生のすべてを植物に捧げる本村に、藤丸は恋の光合成を起こせるのか!?

『フーテンのマハ』原田 マハ/集英社文庫

『昭和二十年夏、わたしの戦争』近藤 富枝/角川書店

『宇宙戦争』H・G・ウェルズ/東京創元社

『華氏 451 度/新訳版』レイ・ブラッドベリ/早川書房
華氏451度で書物の紙は引火し、燃える。書物を焼く仕事に誇りを持つモンターグだったが、ある晩、風変わりな少女と出会ってから、彼の人生は劇的に変わってゆく…。不朽の名作の新訳版。

『10月はたそがれの国』レイ・ブラッドベリ/東京創元社

